

東京 2020 オリンピック聖火リレー点火セレモニーと 東京 2020 パラリンピック聖火リレー採火式・ 聖火ビジットが実施されました

4度目の緊急事態宣言の発出により、都内（島しょ部除く）の公道での聖火リレーはすべて中止となりました。市内では吉祥寺駅から五日市街道を經由し、武蔵野陸上競技場まで走行する予定でしたが、公道の走行は中止し、点火セレモニーのみ実施しました。

7月
16日

東京 2020 オリンピック 聖火リレー点火セレモニー @武蔵野陸上競技場

陸上競技場のトラック上で、15名のランナーがトーチキスを行い聖火をつなぎました。最終ランナーの小林幸一郎氏（市内在住・視覚障害クライマー）が特設ステージ上の聖火皿に点火し、点火セレモニーはフィナーレを迎えました。



点火セレモニーの模様を市動画チャンネル(YouTube)で公開中です



8月
20日

東京 2020 パラリンピック聖火リレー 武蔵野市採火式 @武蔵野総合体育館



市民や障害者施設などから集めた大会への想いを書いた絵や書などの作品を燃やし、パラリンピック聖火の一部となる武蔵野市の火を作りました。

8月
23日

東京 2020 パラリンピック聖火リレー 聖火ビジット @武蔵野総合体育館



パラリンピック聖火リレーが通過しない武蔵野市では、東京 2020 パラリンピック聖火と聖火リレートーチの展示が行われました。